

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和4年度 第4回杉下小学校学校運営協議会
日時	令和5年1月31日(火) 13時15分～15時30分
場所	杉下小学校 1階多目的室
出席委員	会長、副会長、副会長、委員、委員、委員、委員、委員、委員、杉下小学校長
欠席委員	0人
事務局	教頭
議題	(1) 教育活動の取り組み・児童の様子について (2) 学校評価について(結果から運営協議会でできること等) (3) 令和5年度 学校運営協議会委員のお願い (4) 全体の情報交換・意見交換(授業参観)について(PTA・学校応援団) (5) 学校応援団、学校運営協議会合同研修会の報告について
配布資料	資料1 学校評価アンケートの結果について
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	(1) 教育活動・児童の様子について(校長から) (2) 学校評価アンケートの結果について(教頭から) (3) 令和5年度 学校運営協議会委員のお願い(校長から) (4) 情報交換・意見交換(授業参観)について ・ 授業参観による児童や学習活動の様子について(全委員から) (5) 学校応援団、学校運営協議会合同研修会の報告について ( 副会長から)

【議事概要】

はじめに

- ・ 開会の言葉(事務局)
- ・ 会長挨拶並びに校長挨拶

議題(1) 教育活動・児童の様子について

<校長>から以下についての説明を行った。

- ・ 授業はタブレットを積極的に使ったものが多い。
- ・ タブレットの持ち帰りを週末実施し、家庭学習等で役立てている。
- ・ 5年生で埼玉医大総合医療センター救命救急士による「命の授業」(AEDを使用しての救命救急方法)を実施する予定である。
- ・ 5年生 SKIP シティへの校外学習実施。

13時45分～14時30分 授業参観

#### 議題（４）情報交換・意見交換(授業参観)について

##### < 会長より >

先生方の授業の進め方において、先生方の声が小さいように感じた。児童はきちんと聞き取れているか心配。大型モニターに映っている文字等は見えないであろう。はっきり大きな声で進めていただきたい。

##### < 副会長 >

全体的に落ち着いた授業の雰囲気に進んでいると感じる。

##### < 副会長 >

全体的に先生方の板書が大変上手で見やすいと感じた。チョークの使い方がすばらしい。思考力については児童がしっかりと考えていて感心した。丁寧に進めている。一人一人の児童の目を見て行っているようで素晴らしい。

##### <事務局 >

先生方は、普段からの教材研究を大事にしている。

##### < 委員 >

授業の教え方が上手。子供たち一人一人が考える力がついているのでは。思考しながら学んでいる姿に感心した。

##### < 委員 >

廊下に掲示している書きぞめの作品が素晴らしい。タブレットの使用に関して、弱視が心配。目への影響が心配。視力低下している児童は増えていないか。健康に対してあまり影響がよくないのではないか。コロナの影響もなくなってきて、本日会では、様々な行事を行った。餅つき大会では100名以上が参加した。持久走大会等行えれば良いと思う。運動会も通常にできるようになると思う。

##### <事務局 >

タブレットを使用しながら学習するにあたって懸念材料ではある。

##### <校長 >

最近の児童は眼鏡をかけている児童は多いと感じる。学校でもタブレットを導入し始めているが、それ以前に家庭でのテレビ視聴やゲーム、スマートフォンのゲームアプリ等、長時間使用している児童が増えている。県の調査でも、夜遅くまでゲームをしているという調査結果から、視力低下が課題となっている。タブレットの家庭への持ち帰りについて、3学期から週末持ち帰りを行っているが、来年度から毎日持ち帰らせて家庭学習に使うようにする。他校でも持ち帰らせたルール作りとして、使用する時間を決めて使用するという対策をしている。しかしながら全国でもICTを活用した学習活動を行っているのが現状であり、それらを使えないと将来子供たちが社会へ出たときにICTを使った仕事に就く子がいるでしょうし、そういうことも含めて、使用する際には気を付けて使用させることに気を付けていく。

< 委員 >

大型モニターに映っている文字が見えないのでは。教材を作ってあげるといいのでは。マルチな刺激を与えながら授業を行えるといい。

< 校長 >

今後、デジタル教科書が入ってきている。現在、外国語活動では、児童にも配布されてきている。今後も、市でも教師用のデジタル教科書を入れてもらっているが、児童用デジタル教科書を入れてくれるようになれば、児童にとっても使い勝手がよくなると思う。

< 校長 >

児童に教える際に必要以上に「教えすぎない」ことも大切。あまり過剰に教えすぎると、児童自ら思考しなくなる恐れがある。そのバランスがとても大切である。

< 委員 >

各クラス、廊下が整理整頓されている。先生方の疲労感を感じた。マスクをしているせいで相手の表情がわかりづらい中、先生の「抑揚」がない話し方で、伝わる内容に勢いが無いように感じる。コミュニケーションスキルが身につかない。

< 校長 >

先生自身の性格もあるかもしれない。オーバーリアクションで指導する先生方が少ないかもしれない。

< 委員 >

落ち着いていて授業態度も素晴らしい。課題のある「挨拶」も児童から挨拶できるようなので、大人が関わりを持っていくことが大切である。先生が元気だったら児童も元気になると思う。学校で困っているとか課題であるとか何か。

< 校長 >

先生方も頑張っていて対応している。課題のある児童に対応できる教職員が手薄になってくると厳しい。

< 委員 >

本大学の学生をボランティアとして派遣できますので、ご依頼いただければと思う。

< 委員 >

音楽の授業を教室でやっていたが、担任がやることがあるのか。飛散防止パネルがなくなってきれいになっている。給食では黙食を行っているのか。

< 校長 >

3年生以上は専科の教員が音楽の授業を行っている。給食もグループにならず喫食している。今後、政府や県から通知が来るのでは。文科省から10月あたりに「黙食は強制していない」といったような報道があったが、ちょうどその時期に

本市では感染者が増えており、通常の給食指導を行うことができなかった。また、感染者拡大により、学校、学年、学級閉鎖等の措置をとった際に、その後控えている学校行事（校外学習・修学旅行等）ができなくなる可能性を考えると、なかなか感染前の給食指導ができないと考えた。

< 委員 >

教室の換気をしながらエアコンを入れて…という効率の悪い教室環境ではないか。燃料費も高騰している中で。

< 校長 >

昨年度、全館空調から教室ごとでエアコンが使える環境になった。そのため、燃料費（電気代）が昨年度とどのくらい違うのか比較ができない。職員には、気候等考えながらエアコンを使用するよう呼びかけ、節電も念頭に置きながら使用するよう指示をしている。

< 委員 >

タブレット授業が進んでいる中で、廊下に掲示している書きぞめの作品について、とてもしっかりした字を書いていることに感心した。  
タブレットを使ったトラブルや、いじめのようなものはあるのか。

< 校長 >

タブレットを使ったトラブルはないが、スマートフォン等のトラブルは以前に発生している。情報をつかんだので対応した。児童自身にも指導し、該当児童の各家庭へ連絡をして対応することができた。  
高学年については、埼玉県警の非行防止担当とタイアップして、情報セキュリティに関する授業を行った。

< 委員 >

節電、節エネルギーに関する指導を児童にやってほしい。学校で学べば、家庭でも行えるのではないか。  
学校運営協議会での授業参観は、学期初めと学期終わりだけでいいのではないか。できれば昼休みや給食の時間を見させてほしい。  
図書室の本について、数が少ないと感じる。もう少しレベルの高い本を置いたらどうか。

< 校長 >

市費司書職員を中心にほしい本や読んでみたい本等の意見を児童、教職員から聞いて定期的に購入している。また、児童があまり手に取らない書籍や年数がかなり経過した書籍については順次廃棄している。本校は授業に図書室を使うことが大変多い。児童も活用している人数が多い。図書室にある書籍数は、他校に比べると多いと感じている。

## 議題（２） 学校評価について（結果から運営協議会でできること等）

### <事務局>

意見を募った

### < 会長>

地域支えあい協議会、放課後こどもサロン等で話題が上がるのは、杉下小の子供たちが、地域の行事に参加する割合が非常に少ない。里山サポートさんが、地域の森林を使って活動している。地域にもっと呼びかけをしないといけないのではないか。以前は、教職員も参加していただいていた。学校によっては、それらの活動が教育課程に組み入れられている。

### < 委員>

児童も巻き込んでの活動ができれば、地域の活性化するのでは。

### < 会長>

地域との連携、関わり合いに課題があるのではないだろうか。

### < 副会長>

東市民センターでこどもサロンを開いている。帰宅してからこどもサロンに来るよう伝えている。（夕焼け放送まで）

### < 委員>

自治会等の活動をしている視点で、地域の集まりが年々悪くなっている。地域の共同意識が低下している。自治会の加入率が50%を下回っている。杉下小学校の子供会も以前は10か所くらいあったのが4つしかない。老人会に加入している人も4%程度。地域の人たちも、他者に干渉しない・自己にも干渉されたくないという考えからが強すぎているのではないか。これからは、このような地域の人たちを巻き込むには旧態依然のやり方が通用しなくなってきている。自治会も解体してきている。

### <事務局>

里山サポートさんとの活動について、藤小では教育課程に組み込まれている。年間を通じて活動している。また、鶴二小では、支えあい協議会と一緒に避難訓練を行っている。そのような事例を考えると、本校でもできないことはない。何を切り口にしてどこを窓口にして誰が中心となって行っていけばよいか。

### < 会長>

委員のメンバーに支えあい協議会の人がいるので、その方を窓口にするればいいのでは。里山サポートさんたちが杉下小の活動に参加することを希望しているが、本校の職員とのパイプが今までなかった。地域の方々が学校のためを思ってボランティアでやってくれるので、学校もその思いを受け止めて行っていただきたい。

< 委員 >

P T Aとして、そのような活動に際して、誰に・何を・どのように聞けばいいのかわからないのが現状である。地域の見守り隊に関してはコーディネーターさんに聞けばいいが、五味ヶ谷地区は今まで老人会の皆さんにお願いをしていた。しかし、今年になってこの老人会がなくなって、見守りができなくなった。その時にその対応を誰に聞けばいいのかわからない。

P T Aでは、そのような連絡体制をチラシ等ではなく、メール等で行っている。もしよかったら、P T Aの会議にその里山サポートさんにも出てもらって体制作りに加わっていただければと考えるがどうか。また、自治会に組み込まれている子供会という組織もあるので、煩雑になってしまう点も懸念される。

< 会長 >

支えあい協議会は自治会や避難訓練等、地域における様々な方面を網羅している。窓口は支えあい協議会でいいかと思う。

< 委員 >

里山サポートとの連携で、昨年度末、杉下小学校の伐採作業を行った。里山さんとのパイプはできていた。以前、前任の校長に里山サポートさんとの取り組みについて誘ったが、様々な点で今後検討していきたいという回答だったので実現はできなかった。自治会も子供会も体制が不十分で衰退しているのが現状である。

< 会長 >

おやじの会を使ってはどうか。

< 委員 >

杉下小のおやじの会は、以前は十数名のおやじの会員がいたが、現在は一人しかいなくなってしまった。

< 委員 >

おやじの会は、自分がP T A会長をやっていた時に、P T A組織の中に発足をさせた。

< 副会長 >

活動の目的は何か。

< 長峰委員 >

教職員の負担軽減。運動会のテント張りや校舎内のタイルの張り替えを行っていた。様々な保護者に学校へ来てもらって学校を知ってもらおうとしたことも狙った。

< 副会長 >

減った理由は何か。

< 委員 >

自分がPTA会長を降りたため。市内では次第に衰退していきっており、コロナ以前までは、杉下小のみ組織があった。他校は衰退して組織がなくなっている。

< 委員 >

(自治会にしろおやじの会にしろ) 支えあい協議会がイニシアティブをとって活動しないとまとまらないのでは。これからはそのような組織に若い方々を入れなさいといけない。

< 委員 >

支えあい協議会や自治会など、どんなことをやっているのか不明な点が多い。PTA視点で考えると、見守り隊一つとっても自治会にもお願いしたいし、支えあいにもお願いしたいが、自治会は協力するけど支えあいは・・・では困惑する。それぞれ活動内容は違うと思うが、PTAからお願いするとちょっと難しい感じがする。

< 会長 >

学校が呼び掛けてはどうか。地域からの発信だと、それぞれの組織に対して不都合が生じる懸念がある。まずは、学校と里山サポートとの連携を図ってみてはどうか。

< 事務局 >

まずは事務局から連絡をとってみる。来年度の教育課程には入れられないので、再来年度を目指す。

< 委員 >

運営協議会の委員構成について、保護者の参加をできるだけ多くしたほうがいいのでは。

< 校長 >

メンバーと構成委員は会則で決まっている。現時点での構成委員の中に保護者代表として加わっている。

< 会長 >

市の施策で決まっている。

< 委員 >

若い方の意見も聞きたいので。

< 委員 >

上広谷中央自治会から、ラジオ体操を週に一回、本校で行いたい。実施する際には、児童と一緒に登校して学校に向かう。(見守りをしながら) そのような取り組みをすることによって、児童と地域の触れ合いができるのでは。子供も、運動した後に学習すれば、学力が上がるというデータもある。お年寄りと一緒に、朝、

子供もラジオ体操をした後に学習活動に入れればいいのか。実現するようであれば、ほかの自治体にも声をかけ実施していきたい。

<校長>  
時間帯は？

< 委員 >  
子供の時間帯に合わせて実施できる。しかし、最初に登校する登校班と最後に登校する登校班とのタイムラグがあることについてどうするか検討している。その方たちに見守りをやってもらえれば、保護者負担も軽減されるのではないかと。

<校長>  
昨今の流れとして働き方改革の関係で、職員の勤務時間開始をもう少し遅くしてはという話が出てきている。その取り組みについては、今すぐ実施はできない。しかし中学校では部活の朝練習を今後廃止にする方向である。それに伴って小学校では、登校時間を少し遅らせるという話がある。現状では、教育活動が開始されるのが8時20分からだ。教職員はその1時間半前からきている職員もいる。そのために登校時間をもう少し遅らせることはできないか思案中である。あわせて、児童の登校時間も遅らせることはできないか言われている。いずれ日本全体がそうなるかもしれない。ラジオ体操への取り組みには、職員は参加できないが児童の見守り安全の観点からはよい取り組みであると思う。

< 副会長・ 委員 >  
社会全体がそうなるかもしれない。

< 委員 >  
この取り組みは、以前話題になったが（自治会内で？）そんなことできないと一蹴されてしまったことがあった。普段の生活圏内からそれ以上遠くへは行きたくないという意見がある。

### 議題（3）令和5年度 学校運営協議会委員のお願い

<校長>  
次年度もこのメンバーでお願いしたい。しかし、各団体組織の任期等が終了するため遠慮したいという方は、後任の方を推薦していただいで連絡をしていただきたい。

### 議題（4）全体の情報交換・意見交換（PTA・学校応援団から）

< 委員 >  
PTAからは特になし。

< 委員 >  
見守り体制が崩れてきている。また、コーディネーターも1名増員して3名体制で活動していく。2月下旬に西公園を中心とした剪定作業を行う予定。保護者に

も参加を呼び掛けたい。

議題（５）学校応援団・学校運営協議会合同研修会の報告について

< 副会長 >

12月20日参加してきた。所沢市立 小学校長の講話。聞きやすい講和。学校と地域の連携をどうするか、そして子供たちをどう育てていくかがメインの講話。地域人材の活用をもっと活用して子供たちに話をしてもらう。地域の年配者のお話（命の大切さ、礼節等々）をしてもらい、子供たちの育成を図っていく。地域社会と学校との大きなつながりを構築できるのではないか。

<事務局>

連絡事項

<事務局>

第5回 3月 3日（金）13：15～15：30 1階多目的室

閉会の言葉

< 副会長 >

本日の日程は以上です。と閉会宣言をした。